

## 唐松岳～白馬岳

2012年7月14日(土)～15日(日)

L:lady、世田、大山(記)

---

八方の駐車場から雨。ゴンドラ&リフトを乗り継ぎ八方尾根を登る。天気は悪いが人は多い。

高山植物もたくさん咲いていてきれい。所どころに残雪も残る。



唐松岳の山荘付近は風が強くて寒かった。テント場がかなり下りたところにあって、しかもトイレは山荘にしかないということで、げーって感じ。

テント場に下りて行ったとき、突然、雷鳥が現れた。つがいでいたので、こんな賑やかな場所に巣があるのだろうか…

とりあえずテントに入りくつろぐ。写真のドリンク類や重そうなおつまみは同行のお二人が担ぎ上げたもの（ドリンクは勿論、お二人分）。



夕方になって雨が止んだのでテントを出てトイレに行く。ガスがすっかり晴れて正面に五龍岳がどーんとそびえ、唐松岳もすっかり姿を見せている。ついでに登ってくる。



## 2日目

予定通り3時に起床。風雨が強い。とりあえず朝食を済ませ、パッキングまでするが相変わらずの状態なので、出発を見合わせることにして再びシュラフを出す。

結局本日は停滞。

することもないので寝る。9時の気象通報で天気図を取ったり、再び寝たり。

お昼くらいには天気も回復し、テント内の濡れたものを外で干したりして過ごす。続々と人がきて、テント場がみるみる埋まっていった。しかもまだ残雪もあって場所も限られるため、密度がすごい。幸い、自分達のテントは独立した場所だったのでよかった。

それにしても、この山域の特徴なのか最近の傾向なのかは分からないけれど、このテント場に限らず今回の行程中のカップル率の高さには驚いた。



### 3日目

天気は上々。停滞した甲斐があった。

テントから出ると既に唐松岳にヘッドライトの明かりが見える。

唐松岳のピークを踏んで、本日のハイライトの不帰のキレット方面へと進む。最初は岩峰を富山側に巻き、Ⅱ峰南峰と北峰の下りに鎖場が出てくる。





I 峰から下るといよいよ天狗の大登り。振り返ると越えてきたルートが一望できて登りのきつさを忘れる？



上部に鎖場があり、年配の登山者が鎖に鈴なりになって下っていた（下でリーダーらしき人が支えていた）。



天狗山荘の付近はウルップ草がたくさん咲いていた。天狗山荘から先は雪溪を上り稜線に戻る。



鑓ヶ岳からは白馬岳まで見渡せた。杓子岳のピークを踏んで白馬岳へ向かう。



しかし、だんだんガスに巻かれてきて、頂上宿舎との分岐に至る頃には周囲は真っ白。そこに荷物をデポして空身で山頂を目指す。途中で雷鳥みる。

そして残念な白馬岳山頂。



下りの時間は気になったが、お腹が空いたので頂上宿舎で"頂上うどん"を食べて腹ごしらえする。天かすがたくさん入っていて美味しかった。

あとは大雪溪まで下り、登ってくる人ももういない雪溪をひたすらに下った。

(タイム)

1日目 7:56 リフト終点 ~8:58 八方ケルン ~10:55 丸山ケルン ~11:55 唐松山荘

3日目 4:09 テント場 ~4:48 唐松岳 ~6:51 I 峰の頭 ~9:03 天狗の頭 ~10:36 鑓ケ岳

~13:04 白馬岳 ~14:50 大雪溪取付 ~16:09 白馬尻 ~17:00 猿倉